

今日のトピック 2024年8月の注目イベント

「ジャクソンホール会議」が焦点

- 8月22日～24日に開催される経済シンポジウム「ジャクソンホール会議」が最大の注目材料です。「ジャクソンホール会議」は、毎年カンザスシティ連邦準備銀行が主催し、世界各国の中央銀行総裁や財務大臣、学者、金融市場関係者が参加して、経済政策について議論する重要なイベントです。特に、パウエル米連邦準備制度理事会（FRB）議長による講演は、FRBの金融政策の方向性に関する重要な手がかりとなるため、金融市場から非常に注目されています。パウエル議長は、7月9日の議会証言で米国経済は「もはや過熱していない」と述べ、FRBが利下げを探る局面に入ったことを示唆しました。こうしたなか、経済指標などのデータがさらに確認できる8月下旬開催の「ジャクソンホール会議」は、9月利下げの行方を左右する焦点となりそうです。
- 日本では、15日に4-6月期の実質GDPが公表されます。1-3月期の実質GDPは前期比年率▲2.9%と、品質不正問題による自動車の生産停止などから大きく下振れしましたが、4-6月期はプラス転換が見込まれます。日銀の追加利上げを見通す上で、特に前期比のマイナスが続く個人消費の動向が注目されます。

【各国・地域の経済指標、金融政策決定会合等イベントの予定（2024年8月）】

米国	欧州	中国・アジア・その他	日本
1日:7月全米供給管理協会(ISM)製造業景況指数 2日:7月雇用統計 5日:7月ISM非製造業景況指数 6日:6月貿易収支	1日:イングランド銀行金融政策委員会 6日:ユーロ圏6月小売売上高	1日:中国財新7月製造業PMI 5日:中国財新7月非製造業PMI 6日:豪州金融政策決定会合 7日:中国7月貿易収支 8日:インド金融政策決定会合 9日:中国7月PPI、7月CPI	6日:6月家計調査、6月毎月勤労統計 7日:6月景気動向指数 8日:6月国際収支、7月景気ウォッチャー調査
13日:7月生産者物価指数(PPI) 14日:7月消費者物価指数(CPI) 15日:7月小売売上高、7月鉱工業生産 16日:8月ミシガン大学消費者信頼感指数 19-22日:民主党大会	14日:ユーロ圏6月鉱工業生産、イギリス7月CPI 15日:イギリス4-6月期GDP 16日:ユーロ圏6月貿易収支	15日:中国7月小売売上高、7月鉱工業生産、7月固定資産投資 20日:トルコ金融政策決定会合	13日:7月企業物価指数 15日:4-6月期GDP 19日:6月機械受注
22日:8月製造業・非製造業購買担当者景気指数(PMI) 22-24日:ジャクソンホール会議 23日:7月新築住宅販売 27日:6月ケースシーラー住宅価格指数 30日:7月個人消費支出(PCE)デフレーター、7月PCE、7月個人所得	22日:ユーロ圏8月製造業・非製造業PMI 26日:ドイツ8月IFO企業景況感指数 28日:パリパラリンピック開会式 30日:ユーロ圏8月CPI	30日:インド4-6月期GDP 31日:中国8月製造業・非製造業PMI	23日:7月全国CPI 27日:7月企業向けサービス価格指数 30日:8月東京都区部CPI、7月失業率、7月有効求人倍率、7月鉱工業生産、7月住宅着工件数、7月小売業販売額

(注) 2024年7月23日現在。日付は現地時間。予定は変わる可能性があります。

(出所) 各種報道等を基に三井住友DSアセットマネジメント作成

チーフリサーチストラテジスト
石井康之 (いしい やすゆき)

ここもチェック! 2024年6月26日 2024年7月の注目イベント
2024年5月28日 2024年6月の注目イベント

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友DSアセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。